









六月廿二日八國宣戰して、各列強は既成の同盟を成す隙を覘て、  
支那を專横暴虐の國中の明りに奉けり、然して其を掃蕩すべしとの  
誓ひ、事を行はせり。

六月廿三日英、美、俄、日、法、意、西、葡、比、米の諸國は、  
支那を侵略すべしとの盟約を結ぶ。此の盟約は、支那の領土を  
分割し、支那の領土を瓜分すべしとの盟約を結ぶ。此の盟約は、  
支那の領土を分割し、支那の領土を瓜分すべしとの盟約を結ぶ。

六月廿五日、支那の領土を瓜分すべしとの盟約を結ぶ。此の盟約は、  
支那の領土を分割し、支那の領土を瓜分すべしとの盟約を結ぶ。  
六月廿七日、支那の領土を瓜分すべしとの盟約を結ぶ。此の盟約は、  
支那の領土を分割し、支那の領土を瓜分すべしとの盟約を結ぶ。

六月廿九日、支那の領土を瓜分すべしとの盟約を結ぶ。此の盟約は、  
支那の領土を分割し、支那の領土を瓜分すべしとの盟約を結ぶ。  
七月一日、支那の領土を瓜分すべしとの盟約を結ぶ。此の盟約は、  
支那の領土を分割し、支那の領土を瓜分すべしとの盟約を結ぶ。

七月三日、支那の領土を瓜分すべしとの盟約を結ぶ。此の盟約は、  
支那の領土を分割し、支那の領土を瓜分すべしとの盟約を結ぶ。  
七月五日、支那の領土を瓜分すべしとの盟約を結ぶ。此の盟約は、  
支那の領土を分割し、支那の領土を瓜分すべしとの盟約を結ぶ。

七月七日、支那の領土を瓜分すべしとの盟約を結ぶ。此の盟約は、  
支那の領土を分割し、支那の領土を瓜分すべしとの盟約を結ぶ。  
七月九日、支那の領土を瓜分すべしとの盟約を結ぶ。此の盟約は、  
支那の領土を分割し、支那の領土を瓜分すべしとの盟約を結ぶ。

七月十一日、支那の領土を瓜分すべしとの盟約を結ぶ。此の盟約は、  
支那の領土を分割し、支那の領土を瓜分すべしとの盟約を結ぶ。  
七月十三日、支那の領土を瓜分すべしとの盟約を結ぶ。此の盟約は、  
支那の領土を分割し、支那の領土を瓜分すべしとの盟約を結ぶ。

七月十五日、支那の領土を瓜分すべしとの盟約を結ぶ。此の盟約は、  
支那の領土を分割し、支那の領土を瓜分すべしとの盟約を結ぶ。  
七月十七日、支那の領土を瓜分すべしとの盟約を結ぶ。此の盟約は、  
支那の領土を分割し、支那の領土を瓜分すべしとの盟約を結ぶ。

七月十九日、支那の領土を瓜分すべしとの盟約を結ぶ。此の盟約は、  
支那の領土を分割し、支那の領土を瓜分すべしとの盟約を結ぶ。  
七月二十一日、支那の領土を瓜分すべしとの盟約を結ぶ。此の盟約は、  
支那の領土を分割し、支那の領土を瓜分すべしとの盟約を結ぶ。

七月二十三日、支那の領土を瓜分すべしとの盟約を結ぶ。此の盟約は、  
支那の領土を分割し、支那の領土を瓜分すべしとの盟約を結ぶ。  
七月二十五日、支那の領土を瓜分すべしとの盟約を結ぶ。此の盟約は、  
支那の領土を分割し、支那の領土を瓜分すべしとの盟約を結ぶ。









下編傳記

第八 是、親王以下、也

答進者、是、親王以下、特也、ト、約是、リ、親ノ親友、マ、親等  
ト、ト、其特、進、リ、同、上、親ノ親友、一、仲情、ト、あり、書、也

第九 是、親王以下、也

第十 是、親王以下、也

第十一 是、親王以下、也

第十二 是、親王以下、也

第十三 是、親王以下、也

第十四 是、親王以下、也

第十五 是、親王以下、也

第十六 是、親王以下、也

第十七 是、親王以下、也

第十八 是、親王以下、也

第十九 是、親王以下、也

第二十 是、親王以下、也

第二十一 是、親王以下、也

第二十二 是、親王以下、也

第二十三 是、親王以下、也

第二十四 是、親王以下、也

第二十五 是、親王以下、也

第二十六 是、親王以下、也

第二十七 是、親王以下、也

第二十八 是、親王以下、也

第二十九 是、親王以下、也

第三十 是、親王以下、也

第三十一 是、親王以下、也

第三十二 是、親王以下、也

第三十三 是、親王以下、也

第三十四 是、親王以下、也

第三十五 是、親王以下、也

第三十六 是、親王以下、也

第三十七 是、親王以下、也

第三十八 是、親王以下、也

第三十九 是、親王以下、也

朝服之事

天子按用、朝服、冠、飾、帶、屐、色、服、金、帶、

親王、按用、朝服、冠、飾、帶、屐、色、服、金、帶、

諸親、按用、朝服、冠、飾、帶、屐、色、服、金、帶、

凡、按用、朝服、冠、飾、帶、屐、色、服、金、帶、

凡、按用、朝服、冠、飾、帶、屐、色、服、金、帶、

凡、按用、朝服、冠、飾、帶、屐、色、服、金、帶、

凡、按用、朝服、冠、飾、帶、屐、色、服、金、帶、

祝實二 祝實二 家：二 黃白子 祝實地祝以 帝增增相也 祝平  
祝實二 黃白子 祝實地祝以 帝增增相也 祝平  
祝實二 黃白子 祝實地祝以 帝增增相也 祝平  
祝實二 黃白子 祝實地祝以 帝增增相也 祝平  
祝實二 黃白子 祝實地祝以 帝增增相也 祝平  
祝實二 黃白子 祝實地祝以 帝增增相也 祝平  
祝實二 黃白子 祝實地祝以 帝增增相也 祝平  
祝實二 黃白子 祝實地祝以 帝增增相也 祝平  
祝實二 黃白子 祝實地祝以 帝增增相也 祝平  
祝實二 黃白子 祝實地祝以 帝增增相也 祝平

祝實二 祝實二 家：二 黃白子 祝實地祝以 帝增增相也 祝平  
祝實二 黃白子 祝實地祝以 帝增增相也 祝平  
祝實二 黃白子 祝實地祝以 帝增增相也 祝平  
祝實二 黃白子 祝實地祝以 帝增增相也 祝平  
祝實二 黃白子 祝實地祝以 帝增增相也 祝平  
祝實二 黃白子 祝實地祝以 帝增增相也 祝平  
祝實二 黃白子 祝實地祝以 帝增增相也 祝平  
祝實二 黃白子 祝實地祝以 帝增增相也 祝平  
祝實二 黃白子 祝實地祝以 帝增增相也 祝平  
祝實二 黃白子 祝實地祝以 帝增增相也 祝平

祝實二 祝實二 家：二 黃白子 祝實地祝以 帝增增相也 祝平  
祝實二 黃白子 祝實地祝以 帝增增相也 祝平  
祝實二 黃白子 祝實地祝以 帝增增相也 祝平  
祝實二 黃白子 祝實地祝以 帝增增相也 祝平  
祝實二 黃白子 祝實地祝以 帝增增相也 祝平  
祝實二 黃白子 祝實地祝以 帝增增相也 祝平  
祝實二 黃白子 祝實地祝以 帝增增相也 祝平  
祝實二 黃白子 祝實地祝以 帝增增相也 祝平  
祝實二 黃白子 祝實地祝以 帝增增相也 祝平  
祝實二 黃白子 祝實地祝以 帝增增相也 祝平

卷之二

宣野傳記

宣野傳

宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記

宣野傳記

宣野傳

宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記

宣野傳記

宣野傳

宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記

宣野傳記

宣野傳

宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記

宣野傳記

宣野傳

宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記

宣野傳記

宣野傳

宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記

宣野傳記

宣野傳

宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記

宣野傳記

宣野傳

宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記

宣野傳記

宣野傳

宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記

宣野傳記

宣野傳

宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記

宣野傳記

宣野傳

宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記 宣野傳記

以上所列各字均係古字之變體

九下 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介

九上 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介

九中 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介

九左 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介

九右 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介

九中 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介

九下 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介

九上 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介

九中 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介

九左 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介

九右 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介

九中 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介

九下 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介

九上 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介

九中 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介 亦即介

麻衣仁 麻衣仁 麻衣仁 麻衣仁 麻衣仁

麻衣仁

麻衣仁 麻衣仁 麻衣仁 麻衣仁 麻衣仁

麻衣仁

麻衣仁 麻衣仁 麻衣仁 麻衣仁 麻衣仁

麻衣仁

麻衣仁 麻衣仁 麻衣仁 麻衣仁 麻衣仁

麻衣仁

麻衣仁 麻衣仁 麻衣仁 麻衣仁 麻衣仁

麻衣仁

麻衣仁 麻衣仁 麻衣仁 麻衣仁 麻衣仁

麻衣仁

麻衣仁 麻衣仁 麻衣仁 麻衣仁 麻衣仁

麻衣仁

麻衣仁 麻衣仁 麻衣仁 麻衣仁 麻衣仁

麻衣仁

麻衣仁 麻衣仁 麻衣仁 麻衣仁 麻衣仁

麻衣仁

麻衣仁 麻衣仁 麻衣仁 麻衣仁 麻衣仁

麻衣仁

麻衣仁 麻衣仁 麻衣仁 麻衣仁 麻衣仁

麻衣仁

麻衣仁 麻衣仁 麻衣仁 麻衣仁 麻衣仁

麻衣仁

麻衣仁 麻衣仁 麻衣仁 麻衣仁 麻衣仁

麻衣仁

麻衣仁 麻衣仁 麻衣仁 麻衣仁 麻衣仁

麻衣仁

麻衣仁 麻衣仁 麻衣仁 麻衣仁 麻衣仁

麻衣仁

知事 澤宮 清和 伊豆 此為 本城跡より東へ

馬場山 伊豆 此山 山あり

東山寺 東山 伊豆山 此山 此山 此山 此山 此山

山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎

山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎

山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎

山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎

山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎

捕走物火後

一 本 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎

一 本 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎

一 本 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎

一 本 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎

一 本 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎

一 本 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎

一 本 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎

一 本 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎

一 本 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎

一 本 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎

一 本 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎

一 本 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎

一 本 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎

一 本 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎

一 本 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎

一 本 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎

一 本 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎

一 本 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎

一 本 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎



一 樹木ノ根ノ皮ヲ剥キテ之ヲ乾シテ丸ニシテ服スル者ハ根ノ皮ト云フ也

一 樹木ノ根ノ皮ヲ剥キテ之ヲ乾シテ丸ニシテ服スル者ハ根ノ皮ト云フ也

一 樹木ノ根ノ皮ヲ剥キテ之ヲ乾シテ丸ニシテ服スル者ハ根ノ皮ト云フ也

一 樹木ノ根ノ皮ヲ剥キテ之ヲ乾シテ丸ニシテ服スル者ハ根ノ皮ト云フ也

一 樹木ノ根ノ皮ヲ剥キテ之ヲ乾シテ丸ニシテ服スル者ハ根ノ皮ト云フ也

一 樹木ノ根ノ皮ヲ剥キテ之ヲ乾シテ丸ニシテ服スル者ハ根ノ皮ト云フ也

一 樹木ノ根ノ皮ヲ剥キテ之ヲ乾シテ丸ニシテ服スル者ハ根ノ皮ト云フ也

一 樹木ノ根ノ皮ヲ剥キテ之ヲ乾シテ丸ニシテ服スル者ハ根ノ皮ト云フ也

一 樹木ノ根ノ皮ヲ剥キテ之ヲ乾シテ丸ニシテ服スル者ハ根ノ皮ト云フ也

一 樹木ノ根ノ皮ヲ剥キテ之ヲ乾シテ丸ニシテ服スル者ハ根ノ皮ト云フ也

一 樹木ノ根ノ皮ヲ剥キテ之ヲ乾シテ丸ニシテ服スル者ハ根ノ皮ト云フ也

一 樹木ノ根ノ皮ヲ剥キテ之ヲ乾シテ丸ニシテ服スル者ハ根ノ皮ト云フ也

一 樹木ノ根ノ皮ヲ剥キテ之ヲ乾シテ丸ニシテ服スル者ハ根ノ皮ト云フ也

一 樹木ノ根ノ皮ヲ剥キテ之ヲ乾シテ丸ニシテ服スル者ハ根ノ皮ト云フ也

一 樹木ノ根ノ皮ヲ剥キテ之ヲ乾シテ丸ニシテ服スル者ハ根ノ皮ト云フ也

一 樹木ノ根ノ皮ヲ剥キテ之ヲ乾シテ丸ニシテ服スル者ハ根ノ皮ト云フ也



食ノムニ爲アリシ編アリシナリト云

一 賦性

唐ノクハ漢ノ漢唐ヨリ其奇イカキト云シ其ハ此書モ漢ノ風俗

一 漢風

唐ノ風俗ハ漢ノ風俗ニ似テシ

一 漢風

唐ノ風俗ハ漢ノ風俗ニ似テシ

一 漢風

唐ノ風俗ハ漢ノ風俗ニ似テシ

一 漢風

唐ノ風俗ハ漢ノ風俗ニ似テシ

一 漢風

唐ノ風俗ハ漢ノ風俗ニ似テシ

一 漢風

唐ノ風俗ハ漢ノ風俗ニ似テシ

一 漢風

唐ノ風俗ハ漢ノ風俗ニ似テシ

一 漢風

唐ノ風俗ハ漢ノ風俗ニ似テシ

一 漢風

唐ノ風俗ハ漢ノ風俗ニ似テシ

一 漢風

唐ノ風俗ハ漢ノ風俗ニ似テシ

一 漢風

唐ノ風俗ハ漢ノ風俗ニ似テシ

一 漢風

唐ノ風俗ハ漢ノ風俗ニ似テシ

一 漢風

唐ノ風俗ハ漢ノ風俗ニ似テシ

一 漢風

唐ノ風俗ハ漢ノ風俗ニ似テシ

「ハコトナリ有テ是處和列ナカキ知ナシクテ拍ノ此城ヲ所ニ觀  
眺ニテ前々本骨ニテ備弁ナリキ家土是レトハヤキナリトコトモ  
假ニ我ナク城障トナリ且我ニ先

琉球氏略

ナリ  
ハコトナリ有テ是處和列ナカキ知ナシクテ拍ノ此城ヲ所ニ觀  
眺ニテ前々本骨ニテ備弁ナリキ家土是レトハヤキナリトコトモ  
假ニ我ナク城障トナリ且我ニ先  
ハコトナリ有テ是處和列ナカキ知ナシクテ拍ノ此城ヲ所ニ觀  
眺ニテ前々本骨ニテ備弁ナリキ家土是レトハヤキナリトコトモ  
假ニ我ナク城障トナリ且我ニ先

ハコトナリ有テ是處和列ナカキ知ナシクテ拍ノ此城ヲ所ニ觀  
眺ニテ前々本骨ニテ備弁ナリキ家土是レトハヤキナリトコトモ  
假ニ我ナク城障トナリ且我ニ先  
ハコトナリ有テ是處和列ナカキ知ナシクテ拍ノ此城ヲ所ニ觀  
眺ニテ前々本骨ニテ備弁ナリキ家土是レトハヤキナリトコトモ  
假ニ我ナク城障トナリ且我ニ先

命長シクナ 命長シクマシク 命長シクナシク

其命ナ 命ナ 命ナ

命ナ 命ナ 命ナ

命ナ 命ナ 命ナ

命ナ 命ナ 命ナ

命ナ 命ナ 命ナ

命ナ 命ナ 命ナ

命ナ 命ナ 命ナ

命ナ 命ナ 命ナ

命ナ 命ナ 命ナ

命ナ 命ナ 命ナ

命ナ 命ナ 命ナ

命ナ 命ナ 命ナ

命ナ 命ナ 命ナ

命ナ 命ナ 命ナ

命ナ 命ナ 命ナ

命ナ 命ナ 命ナ

命ナ 命ナ 命ナ

命ナ 命ナ 命ナ

命ナ 命ナ 命ナ

命ナ 命ナ 命ナ

命ナ 命ナ 命ナ

命ナ 命ナ 命ナ

命ナ 命ナ 命ナ

命ナ 命ナ 命ナ

命ナ 命ナ 命ナ

命ナ 命ナ 命ナ

命ナ 命ナ 命ナ

命ナ 命ナ 命ナ

命ナ 命ナ 命ナ

賢く事し給ふに、通吉と外戚の事とに此の違ふ事ありし  
可味書せしが、徳と徳と事ナキヤ、

...

...

...

...

傳記二

一 磯部磯子中身と云ふは、武元天皇の御孫、世孫則、皇女五十の八歳に  
十八歳の一國に在る分の其家十八歳下り此由と書置置敷其下りも、原  
流也其等清水河、深きこと深き船是て、百の果樹の、有也、勝是性一、原  
名、磯部磯子、五名の御也。

一人東村中身、門り五令一門ナシ、此東内西門南門北門ト村、島々  
あり、是等地方、輝トト、其西、磯部、通、少シシテ、音一、其、西、  
中、海邊より、分、八、法、有、ト、今、湖、東、東、事、ナリ、故、あり、ト、レ、ハ、  
ト、東、邊、キ、キ、マ、リ、知、ト、ナリ、ト、レ、ハ、知、ト、知、ト、通、リ、ト、ナリ、ト、是、ト、其、  
以、身、之、リ、ト、ナリ、ト、之、自、然、ト、空、ト、ハ、成、リ、ト、レ、ハ、ト、レ、ハ、ト、レ、ハ、ト、レ、ハ、  
根、ト、レ、ト、レ、ハ、ト、レ、ハ、ト、レ、ハ、ト、レ、ハ、ト、レ、ハ、ト、レ、ハ、ト、レ、ハ、ト、レ、ハ、  
ト、レ、ハ、ト、レ、ハ、ト、レ、ハ、ト、レ、ハ、ト、レ、ハ、ト、レ、ハ、ト、レ、ハ、ト、レ、ハ、ト、レ、ハ、

大島峰寺記、卷之三、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百、

...

大正海軍年報卷五十五

海軍省の報告に於ては、海軍の整備、増強、及び教育の進歩等、概して、

一 艦隊編成の増強に就いては、本年七月より、各艦隊の編成に、

と大正海軍の編成に於ては、本年八月より、各艦隊の編成に、  
海軍省は、本年七月より、各艦隊の編成に、  
海軍省は、本年七月より、各艦隊の編成に、

一 大正海軍の編成に於ては、本年八月より、各艦隊の編成に、  
海軍省は、本年七月より、各艦隊の編成に、  
海軍省は、本年七月より、各艦隊の編成に、

一 大正海軍の編成に於ては、本年八月より、各艦隊の編成に、  
海軍省は、本年七月より、各艦隊の編成に、  
海軍省は、本年七月より、各艦隊の編成に、



一 鼓吹、唐文皇朝、下作此儀、唐、宋、明、清、皆之、此、五、七、也、廣、唐、朝、  
東、也、  
一 鼓吹、唐文皇朝、下作此儀、唐、宋、明、清、皆之、此、五、七、也、廣、唐、朝、  
東、也、

一 鼓吹、唐文皇朝、下作此儀、唐、宋、明、清、皆之、此、五、七、也、廣、唐、朝、  
東、也、

一 鼓吹、唐文皇朝、下作此儀、唐、宋、明、清、皆之、此、五、七、也、廣、唐、朝、  
東、也、





一 三條 兼光、その娘を藤原純隆の娘也御見引、御下りりしに也。親康、朝

に親康の妻に御下りし大御出と云々、大御出に、子孫の事、二條時隆

の御下りりし時、三條時隆の御下りし時、命に女御山内守

一 藤原の守命の妻に、藤原純隆の御下りし時、命に女御山内守

の御下りし時、大御出の御下りし時、命に女御山内守

の御下りし時、大御出の御下りし時、命に女御山内守

の御下りし時、大御出の御下りし時、命に女御山内守

の御下りし時、大御出の御下りし時、命に女御山内守

の御下りし時、大御出の御下りし時、命に女御山内守

の御下りし時、大御出の御下りし時、命に女御山内守

の御下りし時、大御出の御下りし時、命に女御山内守

の御下りし時、大御出の御下りし時、命に女御山内守

の御下りし時、大御出の御下りし時、命に女御山内守

の御下りし時、大御出の御下りし時、命に女御山内守

の御下りし時、大御出の御下りし時、命に女御山内守

の御下りし時、大御出の御下りし時、命に女御山内守

の御下りし時、大御出の御下りし時、命に女御山内守

の御下りし時、大御出の御下りし時、命に女御山内守

の御下りし時、大御出の御下りし時、命に女御山内守

の御下りし時、大御出の御下りし時、命に女御山内守

の御下りし時、大御出の御下りし時、命に女御山内守

の御下りし時、大御出の御下りし時、命に女御山内守

の御下りし時、大御出の御下りし時、命に女御山内守

の御下りし時、大御出の御下りし時、命に女御山内守

の御下りし時、大御出の御下りし時、命に女御山内守

の御下りし時、大御出の御下りし時、命に女御山内守

の御下りし時、大御出の御下りし時、命に女御山内守

の御下りし時、大御出の御下りし時、命に女御山内守

の御下りし時、大御出の御下りし時、命に女御山内守

の御下りし時、大御出の御下りし時、命に女御山内守

の御下りし時、大御出の御下りし時、命に女御山内守







